

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第36回理事会

平成10年7月

第 36 回理事会議事録

1、開催日時・場所

- ・1998年7月22日(水) 21:30~22:30 アジア女性基金会議室

2、出席者

- ・理事… 原理事長、金平副理事長、山口副理事長、有馬理事、宮崎理事
- ・オブザーバー…内閣外政審議室/門司審議官、荒木事務官
外務省アジア局/篠原事務官
- ・事務局 伊勢専務理事兼事務局長、木下総務部長、多賀業務第一部長
松田業務第二部長、叶渉外部長、原田事務局員、
佐藤事務局員、渡邊事務局員、間仲事務局員、岡事務局員

3、署名人

有馬理事、宮崎理事

議事次第

同日、18:30 より三者懇談会が開催され、今後の事業展開等について意見交換が行われた。引き続き理事会が開催され、三者懇談会における確認事項の承認、他の議題について審議した。

◆評議員の選任について

- ・これまで基金の評議員であった高岡完治氏が国立公文書館館長に就任し国家公務員となったことにより、評議員を辞任することとなり、後任として紀嘉一郎氏が推薦された。紀氏の略歴が紹介され(添付参照)、審議の結果、選任された。

◆韓国問題への対応について

- ・三者懇談会において確認された「韓国政府への申し入れ要請事項」案について審議を行った結果、同案が承認され、これを政府に提出することになった。
 - ・三者懇談会において出された意見をふまえ、基金事業の第一次実施対象者である7名の被害者への対応について審議した。
- 前述の「韓国政府への申し入れ要請事項」をもって日本政府が交渉にのぞみ、その状況を見つつさらに検討を進める、と伝えることとなった。

以上